

科目名 オホーツク水圏環境学特論実験(一) (2単位)

担当者氏名 塩本明弘・中川至純

◆学習・教育目標

オホーツク海は冬季に氷の海となる大きな特徴を有している。氷海域での環境に関する調査・研究を実施するために必要な実験計画、分析技術の習得、並びにデータの解析力を身につけさせる。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

オホーツク海	氷海	実験計画	分析
機器分析	データ解析		

◆授業の進行等について（単位制度に基づく授業の進行予定・内容）

回数	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1～5回	実験計画	オホーツク海の環境をモニタリングしたり、試料を収集するための計画の立て方について講義し、身につけさせる。	モニタリングや試料収集の計画立案について習得する。
6～25回	分析技術の習得	サンプルの前処理の仕方、環境要因の測定に用いられる一般的な分析手法や機器分析の原理や実際について講義し、身につけさせる。	環境要因の測定に用いる分析技術について習得する。
26～30回	データ解析	得られたデータの解析方法、まとめ方について講義し、身につけさせる。	データの解析、まとめ方について習得する。

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

適宜、資料などを配布する。

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

◆評価の方法（レポート・小テスト・定期試験・課題等のウェイト）

出席、レポートで評価する。

◆その他受講上の注意事項

---



---



---